

「土しゃさいがいにそなえる」

宮崎県 国富町立本庄小学校 3年 宮本 倅ノ加^{みやもと このか}

わたしが5才の時、大きな台風が来ました。ひなん指じがでていて、外は大きなサイレンと家がこわれてしまうのではと思うほど強い風でとてもこわかったのをおぼえています。その台風の後、家の近くで土しゃくずれがありました。

木や車がまきこまれていて、山がくずれているのが見えていたそうです。いつも通っている道がふさがってしまい、買い物は遠回りしないと行けない時期がありました。

その時、もしわたしの家が土しゃくずれにまきこまれていたら・・・と思うと、とてもこわくなりました。わたしはちゃんとひなんできるかな？と思って、家ぞくと話し合う事にしました。話をしてみるとお母さんも「いざという時の事は、ふだんから考えておくのが大切だよ」と言ってくれました。そして、ひなん場所や安全な道、川の近くには行かないことをいっしょに地図を見ながらかくにんしました。

土しゃくずれは、台風や大雨の時だけではなく、地しんの時にも起こることがあるそうです。いつ、どこで起こるか分からないのでふだんからじゅんぴが大事だと分かりました。

またわたしが1人で習い事に行っている時に、さいがいがあつたらどうしようと聞いたら「まわりの人たちと行動して、あわてないようにすること。」と教えてくれました。パニックにならないためにひなんする前はどうするかを考えておくことが大切なんだと学びました。

わたしは、去年ぼうさいイベントにもさんかしました。地しんの体けんをしたり、しょう火きを使った体けんをしたりして、楽しく学ぶ事ができました。おどろいたのは、わたしが思っていたより、たくさんのさいがいがあることです。

火事や地しん、水がい、土しゃさいがい。それぞれちがうひなんの仕方があったので、イベントを何でも体けんしておぼえておくことが大切だと思いました。